

# 2019年度「まちづくり演習第1（持続可能な都市圏計画）」

土曜3～5限（13時00分～18時10分）

担当教員：横張真教授・瀬田史彦准教授・村山顕人准教授・T A

## 課題：宇都宮市の新たな空間戦略の立案

本演習の対象都市とする宇都宮市は、栃木県や都市圏の中心都市として発展を続けており、現在も人口が増加傾向となっている数少ない都市である。同市は2008年に、総合計画の中で、土地利用の適正化、拠点化の促進、ネットワーク化の促進を目指した「ネットワーク型コンパクトシティ」の方向性をいち早く示した。現在は、立地適正化計画の策定（2017年3月に都市機能誘導区域を設定、2018年度末までに居住誘導区域を設定予定）を進めるだけでなく、芳賀・宇都宮 LRT（新交通システム）の新規整備、宇都宮駅東口再開発、釜川沿いの（景観）まちづくり、スマートシティ事業を含め、様々な都市政策を駆使して市街地の集約を進めようとしている。他方、非集約エリアの低密度化後の市街地や農地・緑地のあり方については、必ずしも明確なビジョンがなく、また郊外化は現在も進行している等、集約型の都市構造の実現は容易ではない。

本演習では、以下について検討を行い、宇都宮市の新たな空間戦略を立案する。

- ・ 市全体の都市構造・都市形態：単純なコンパクトシティではない都市構造・都市形態のコンセプト  
→市内各地区の人口・世帯数、土地利用等の現状趨勢、市の政策、まちづくりの取り組みを踏まえた地区の類型化と方向性の検討を行う。LRT 新規整備とそれに伴うバス網再編も市全体の都市構造・都市形態に深く関わることに留意する。そもそも「何をもち『持続可能』と言えるのか」についても考え、2019年7月に発表された国の都市計画基本問題小委員会の中間とりまとめ「安全で豊かな生活を支えるコンパクトなまちづくりの更なる推進を目指して」に基づく議論も行う  
<<https://www.mlit.go.jp/common/001301245.pdf>>。
- ・ LRT 沿線の空間計画・デザイン：宇都宮駅東口から本田技研北門までの芳賀・宇都宮 LRT を軸とした空間計画・デザイン  
→現在進められている「芳賀・宇都宮 LRT トータルデザイン」を沿線の空間計画・デザイン（特に LRT の整備に伴い用地買収が行われる箇所とその周辺）に発展させる。また、周辺地域とのつながり強化（空間的つながり、アクセスなど）について検討する。
- ・ 東武宇都宮駅周辺の再生：都市機能が誘導される「集約エリア」の再生戦略  
→JR 宇都宮駅の周辺に比べて再生が進んでいない東武宇都宮駅周辺の再生戦略を将来の LRT 延伸を見据えて検討する。
- ・ 「居住誘導区域外」の将来像：低密度化する住宅地・集落の空間計画・デザインと活性化、モビリティの提案など  
→スプロール地区や郊外住宅地、市街化調整区域内の集落や農地・緑地の将来について検討する。例えば、大谷地区の観光・景観まちづくりなどを検討しても良い。
- ・ その他：宇都宮市役所の皆さんとの議論の中で浮上するその他のテーマ・対象地

## □進め方

- ・ グループワークを基本とする。1班4～5人程度を目安に、受講生を4～5班に分ける。
- ・ 班員間のディスカッションと共同作業が演習の作業の中心となる。
- ・ 1月11日に中間ジュリー（中間講評会）を行い、各班の課題の認識」や「目標と方針」について議論する。
- ・ 2月1日に最終ジュリー（最終講評会）で、演習成果物として提案を行う。

## □最終提案のイメージ

市全体の都市構造・都市形態、LRT沿線の空間計画・デザイン、東武宇都宮駅周辺の再生、非集約エリア、その他について、少なくとも「現状趨勢の分析」、「課題の認識（問題だけでなく可能性も）」、「空間形成の目標と方針」、「具体的な場所の空間計画・デザイン」を含む空間戦略を図と文章でまとめる。パワーポイントのスライドとA3版概要ポスターの作成は必須とする。

## □日程 時間は定時で 13:00～18:10。場所は基本 141号教室（第1回・第7回は宇都宮市開催予定）

関連講義 「都市情報の分析Ⅱ」	GIS (QGIS) のスキル習得 (人口、土地利用、建物、交通データなどの表示や単純分析)
第1回 11月30日	現地調査 (@宇都宮) ・ 集合時間、場所は追って連絡する。午前中から開始するが午後からの参加も可
第2回 12月7日	イントロダクション ・ 課題説明、レクチャー、班分け ・ GISのおさらい、基本情報と現地調査の整理 ・ 小発表 (大まかな作業方針について)
第3回 12月14日	データ・資料分析、ディスカッション、中間ジュリー準備 ・ 時間を効率的に使うために、現状分析は市が実施した既存のものを活用する
第4回 12月21日	・ 班員によるグループワーク ※必要に応じて各自、作業する
第5回 1月11日	中間ジュリー (中間講評会) ・ 13:00-16:00で最終準備を行い、ジュリーは16:00からとする ・ 主に「課題の認識」や「目標と方針」について議論、講評する場とする
第6回 1月18日	データ分析、ディスカッション、ジュリー準備 ・ 班員によるグループワーク
(1月25日)	・ 1月18日はセンター試験のため、会場を変更する (後日、メールで連絡) ※最終ジュリーまでに、必要に応じて各自、作業する
第7回 2月1日	最終ジュリー (最終講評会) (@宇都宮) ・ 13:00-15:00で最終準備を行い、ジュリーは15:00ごろからを予定

- 1月25日(土)は修論最終ジュリーのため、演習は休講であるが、必要に応じて各自、作業されたい。
- GISについては、本演習開始前に行われる講義「都市情報の分析Ⅱ」(木6・7限、日程要確認)において、宇都宮市を題材に使用法の演習を行うので、履修を強くお勧めする。

## □成績評価 出席およびジュリー・提出物で評価する。

以上